

授業科目名	必修・選択別	単位数	対象学年	学期	曜・限	担当教員
臨床実習入門総合医学	必修	2	4	2		医学教育センター 山本 秋好 他各科目担当教員

【科目名の英文】 Introduction to Clinical Practice

【授業の概要・到達目標】

リハビリテーション・在宅医療・緩和ケアについて学び、チーム医療の意義と重要性を認識し、多職種連携のために必要な知識と態度を涵養する。また、個人情報正しい取扱いができ、診療録記載ができるよう診療録記載の基本を学ぶ。臨床実習前の最後のコースであり、これまで学んできた知識・技能・態度の総仕上げを行い、実習への心構えを高める。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. リハビリテーションの概念と適応について説明できる	○					
2. 機能障害と日常生活動作の評価ができる	○					
3. チーム医療における他職種の役割を説明できる		○				
4. 他の医療系学部 of 学生の中で自らの役割を果たすことができる		○				
5. 自らの価値観や言動について、振り返ることができる						○
6. 臨床現場を想定した環境でシミュレーションによるトレーニングを行う	○					
7. 主体的に自分や周囲の人のキャリアについて考える						○
8. 電子カルテの特性を踏まえ、適切な記載ができる	○					
9. 医療情報管理に関連する規制を遵守できる				○		

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	リハビリテーション医学①	リハビリテーション医学 総論	福祉健康科学部・片岡	講義
2	リハビリテーション医学②	リハビリテーション医学 評価Ⅰ	福祉健康科学部・片岡	講義
3	リハビリテーション医学③	リハビリテーション医学 評価Ⅱ	福祉健康科学部・片岡	講義
4	リハビリテーション医学④	リハビリテーション医学 運動器Ⅰ	リハビリテーション部・池田	講義
5	リハビリテーション医学⑤	リハビリテーション医学 運動器Ⅱ	リハビリテーション部・池田	講義
6	リハビリテーション医学⑥	リハビリテーション医学 脊髄損傷	リハビリテーション部・池田	講義
7	リハビリテーション医学⑦	認知症のリハビリテーション（検査及び非薬物療法）	リハビリテーション部・秋好	講義
8	リハビリテーション医学⑧	心臓リハビリテーション（総論）	リハビリテーション部・秋好	講義
9	リハビリテーション医学⑨	心臓リハビリテーション（各論）	リハビリテーション部・秋好	講義
10	リハビリテーション医学⑩	リハビリテーション医学 義肢・装具	福祉健康科学部・片岡	講義
11	リハビリテーション医学⑪	リハビリテーション医学 脳血管障害	リハビリテーション部・池田	講義
12	多職種連携教育①	チーム医療で治す褥瘡	皮膚科	講義
13	多職種連携教育②	多職種連携の原点：NST の実際 医師以外の職種について考える	救命	講義
14	多職種連携教育③	がん化学療法とチーム医療	腫瘍・血液内科	講義
15	多職種連携教育④	緩和ケアチーム	麻酔科	講義
16	多職種連携教育⑤	多職種学生（医学科・看護学科・社会福祉科・心理科・理学療法科）との合同授業のための事前学習	医学教育センター・中川、山本	実習
17	多職種連携教育⑥	グループディスカッション	福祉健康科学部・片岡 看護学科・幸松 医学教育センター・山本 先進医療科学科・兒玉	講義 実習
18	多職種連携教育⑦	発表準備	同上	実習
19	多職種連携教育⑧	発表と解説	同上	実習 講義

20	キャリア・ワークライフバランス教育	キャリア講義、ワークライフバランス教育、グループディスカッション、ロールプレイ	女性医療人キャリア支援センター・松浦・中田 医学教育センター・中川	講義 演習
21	スキルスラボ実習	シミュレータ教育	医学教育センター・中川、山本	実習
22	医療情報管理①	病院情報システム、情報セキュリティー	医療情報部・下村、安徳	講義
23	医療情報管理②	電子カルテの使用法	医療情報部・後藤	講義
24	医療情報管理③	医療情報ネットワーク、個人情報保護	医療情報部・下村	講義
25	医療情報管理④	正しい診療録の書き方	総合診療・宮崎	講義
26	地域医療講演会	大分県知事講演会	大分県医療政策課	講義
27	臨床ガイダンス	臨床実習の心構え	医学教育センター・中川	講義
28	白衣授与式	白衣授与式	学務課	式

<b>【アクティブラーニングの内容】</b> チュートリアル、小グループディスカッション、ロールプレイ レポート提出、発表会、シミュレータ教育	<b>【その他の工夫】</b> Moodle を使用する。
---	----------------------------------

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

準備学修	講義資料を用いた予習 ( 15 h)。
事後学修	復習とレポート作成 ( 15 h)。

**【教科書】**  
教科書を指定しない。

**【参考書】**  
資料を配布する。

**【成績評価方法及び評価の割合】**  
授業・実習と発表会の態度(40%)とレポート(60%)の成績で総合的に評価する。

**【注意事項】**  
実習・演習は全て出席しなければならない。  
講義は3分の2以上の出席がなければ単位を与えない。

**【備考】**  
各授業の形態・事前学習について、および実習の内容・方法等については、Moodle 等で別途指示します。

リンク	URL	
教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験		医師
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者		看護師、医療情報技師、情報安全確保支援士
実務経験をいかした教育内容		医師・看護師としての実務経験を生かした授業を行う。 医療情報技師は、医療情報システムに関して、情報安全確保支援士は情報セキュリティー全般に関して講義を行う。
授業形態		対面